

Title	編集後記
Sub Title	
Author	富田, 広士(Tomita, Hiroshi)
Publisher	慶應義塾大学大学院法学研究科
Publication year	2002
Jtitle	法學政治學論究 : 法律・政治・社会 (Hogaku seijigaku ronkyu : Journal of law and political studies). No.52 (2002. 3) ,p.468- 468
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10086101-00000052-0468

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

〔編集後記〕

一 本号は、二〇〇一年一月十五日提出締切の投稿論文、二六点のうち、一四点を掲載している。

二 投稿された論文の中に、定形外のもがまだまだ見受けられる。定形外で投稿される論文は、審査の対象とならないので、十分注意していただきたい。定形通りに提出することは、制限字数との関係で極めて重要である。制限字数は、あくまで定形に基づいてカウントされるからである。

三 二〇〇二年五月一日提出締切の論文以降、新しい投稿規程が適用される。主な理由としては、過去四年に遡り調べたところ、手書き原稿二件、ワープロ専用機使用の原稿〇件とほとんどの原稿がパソコンのワードプロセッサ・ソフトウェア(以下ワープロソフトとする)で作成されたものであることが判明したからである。新投稿規程では、この点に配慮し、ワープロソフトによる原稿作成を前提に、より効率的な定形の設定と遵守を目指している。

四 そこで、二〇〇二年五月一日提出締切分以降の投稿者にお願したいのは、新しい投稿規程を精読した上で、原稿執筆に取り掛かっていただきたいということである。新投稿規程は、以下の方法で入手できる。

- ・二〇〇二年度法学研究科履修案内に掲載
- ・三田学事センター法学部係にて配布

・法学部ホームページに掲載(<http://www.law.keio.ac.jp/>)

五 提出期限後の論文の修正はすべて慶應義塾大学出版会の方で行われるので、編集委員会事務局宛への修正、校正の追加的提出は差し控えるようお願いしたい。掲載予定の論文に関する校正は一度行えるが、その段階では、最低限の修正のみ加えるようにしていただきたい。

六 法学政治学論究への問い合わせが郵送、FAX以外の形で行われることがあるが、そのような問い合わせは一切受け付けていない。必ず郵送またはFAXにて問い合わせをするようにしていただきたい。

七 合格者に対して送付している論究執筆者紹介欄に生年月日の記入欄があるが、これは論文掲載順決定の際に基準とするための情報として記入していただいている。しかし、この情報は法学政治学論究に掲載する必要はないとの委員長の判断で、五一号より略歴の欄に生年は掲載しないことになった。

八 本号より、幹事役を田村次朗先生から引き継ぎました。暫くの間、お付き合いの程宜しくお願い致します。その間新投稿規程など、意見、質問があれば、前記六に則り、遠慮なく寄せてください。

(二〇〇二年三月四日、富田広士記)